

すてっぴ

練馬区立男女共同参画センターえーる 図書・資料室

NO.40 平成 24 年(2012 年) 10 月

〒177-0041 練馬区石神井町 8-1-10

☎ 03 (3996) 9005 (代表)

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keihatsu/jinkendanjo/sankakucenter/index.html>

悩んでいませんか？こんな暴力に！ 女性の3人に1人は被害者です

精神的暴力

怒鳴る / 何を言っても無視する / 大事なものを壊す、捨てる / 口汚くののしる / 人格を否定する など

社会的暴力

交友関係や携帯電話をチェック、監視する / 外出を制限する など

経済的暴力

生活費を渡さない / 外で働くことを許さない / 「誰のおかげで食べられるんだ」という など

性的暴力

性行為を強要する / 中絶を強制する / 避妊に協力しない など

身体的暴力

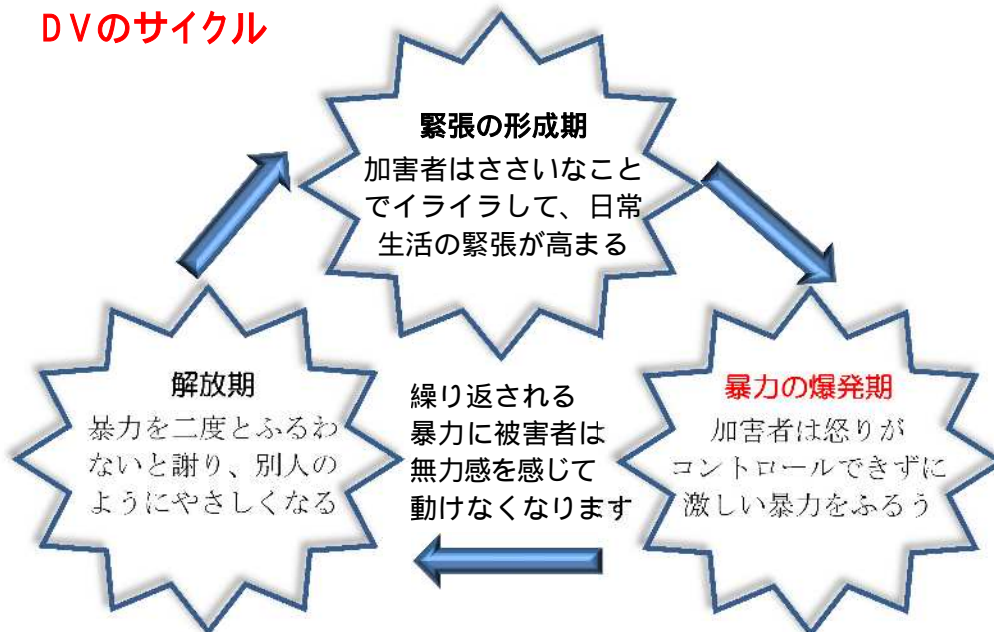
ささいなことで怒り出し、殴る、蹴る / 首を絞める / 物を投げつける / 刃物を突きつけ脅す など

ドメスティック・バイオレンス(DV)とは

配偶者や恋人などから 繰り返しふるわれる暴力のことです。

DVは犯罪です。

DVのサイクル



DVが子どもに及ぼす影響

荒れた家庭環境は、精神的に不安定になるだけでなく、子どもたちも直接虐待を受け、被害者となる可能性があります。また、「DVを目撃することも心理的虐待にあたる」と「児童虐待の防止等に関する法律」(平成 16 年一部改正)に明記されました。暴力を見て育った子どもたちは、暴力をコミュニケーションの一つとして学んでしまい、男性優位を刷り込まれていくことが多いといわれています。

DVの相談をしたい！

男女共同参画センター

女性および母子への暴力に対する専門相談(予約制)
面談相談(電話相談も可)
月・金 ☎03-3996-9050
予約は午前9時～午後7時
(祝休日は午後5時まで)

総合福祉事務所相談係

練馬 / ☎03-5984-4742
光が丘 / ☎03-5997-7714
石神井 / ☎03-5393-2802
大泉 / ☎03-5905-5263
月～金(祝日除く)
午前8時30分～午後5時15分

東京都女性相談センター

電話相談、面接相談(予約制) 月～金(祝日除く)
☎03-5261-3110
午前9時～午後8時
緊急の場合(夜間・休日)
☎03-5261-3911

東京ウィメンズプラザ

電話相談
面談相談(予約制)
☎03-5467-2455
午前9時～午後9時

図書紹介 児童虐待を考える

今年上半期（1～6月）の児童虐待事件は、昨年同期より62%増の248件でした（警察庁発表）。日々、報道される児童への虐待事件の背景には、何が潜んでいるのでしょうか。家族間の葛藤や親子の孤立に加え、社会的要因などが引き金となり、児童虐待はどこの家庭にも起こり得ます。

より多くの人々が問題に関心を持ち、小さな魂の悲痛な叫びに耳を傾け、子どもの笑顔と未来を守らなければなりません。



367.7

ルポ児童虐待

朝日新聞大阪本社編集局編
朝日新聞出版 2008

1週間に1人の割合で日本のどこかで子どもが虐待死しているという。これだけ大きな社会問題となりながらいまだ有効な手立てはない。さまざまな現場から虐待問題の本質に迫る渾身のルポ。

虐待をこえて、生きる

内田伸子、見上まり子著
新曜社 2010

被虐待児が虐待から立ち直り、自分の人生を生きなおすまでの体験談。自身が子どもの虐待者とならずに、負の連鎖を断ち切るために必要なものは「愛着」と「言葉の力」だという。支援を受ければ虐待児も必ず立ち直れる。

367.6



“It”と呼ばれた子

デイヴ・ベルザー著
ソニー・マガジズ 2003

母親から想像を絶する虐待を受け、痛ましい少年時代を過ごした著者が、みずからその半生を綴ったノンフィクション3部作の第1部。名前ではなく「It(それ)」と呼ばれ、身も心もずたずたになりながらも少年は生きぬく。

367.6



新着図書

分類	書名	著者名	発行所
146	となりの脅迫者	スーザン・フォワード	パンローリング
159 オ	女50代、人生本番!	沖藤典子	佼成出版社
159 サ	生きる悪知恵	西原理恵子	文芸春秋
210	身売りの日本史	下重清	吉川弘文館
281	物語幕末を生き抜いた女101人	「歴史読本」編集部	新人物往来社
289 ハ	原阿佐緒	秋山佐和子	ミネルヴァ書房
334	女性のいない世界	マーラ・ヴィステンドール	講談社
366	賢い女性が二人いると会社は伸びる	中神公子	致知出版社
366	ハンドメイドを仕事にするはじめの一步		主婦と生活社
367.3	子育てが終わらない	小島貴子、斎藤環	青土社
367.3	妻と別れたい男たち	三浦展	集英社
367.4	絶食系男子となでしこ姫	山田昌弘、開内文乃	東洋経済新報社
367.9	まだある!職場のセクハラ・パワハラ	和田順子	新水社
367.9	性別なんて決められない!	矢吹レオ	竹書房
369	トットちゃんと地球っ子たち	田沼武能	新日本出版社
371	いじめられている君へいじめている君へいじめを見ている君へ	朝日新聞社	朝日新聞出版
495	精子提供	歌代幸子	新潮社
929 コ	トガニ	孔枝泳	新潮社
936 オ	それは6歳からだった	イザベル・オブリ	緑風出版



367.6

こころを殴られた子どもたち

吉廣紀代子著
毎日新聞社 2002

子どもは親を選べない。育つ家庭も。劣悪な環境であれば、成育歴が及ぼす影響は人によっては計り知れないものがあるだろう。10の家族の事例を紹介。



367.6

誰か助けて

石川結貴著
リーダーズノート 2011

虐待に走る母親の心には一体何が起きているのだろうか？著者は虐待をした母親を訪ね、ありのままの声を聞き、子ども虐待の凄惨な現実を訴える。今私たちにできることはなんだろう。



367.6

子どもへの性的虐待

森田ゆり著
岩波書店 2008

悲惨な事件の背景にあるものは何か。本書では、実態を把握し、抱かれがちな誤解を解き、なぜ適切な介入が困難なのか、解決のためにはどうすればいいのかを考察していく。



367.6

話してもいいのかな？

ばばのりこ著
女性ネット Saya-Saya 文
女性ネット Saya-Saya
2006

DVの目撃は、子どもへの心理的虐待と同様といわれる。DVは子どもたちの人生に長く大きな影響を及ぼす。子どもの心の声に耳を傾けたい。



やまだ
山田 わか

明治12年(1879年)~昭和32年(1957年)

時代を拓いた女たち

『地獄から生まれ変わった女だからこそ、皆様に
お話したいことが、胸いっぱいにあるので
ございます』 昭和12年 シアトルでの講演 より

神奈川県三浦郡久里浜村、農業浅葉弥平治・ミエの8人兄弟の4番目に生まれる。優秀な成績であったが、百姓の女は自分の名さえ書ければよいという両親の考えにより、高等小学校への進学はかなわず、長兄の子どもの子守りや田畑の仕事を手伝った。明治29年17歳で結婚するが生家の没落を機に離婚。兄の窮状を救うため職を求め上京したが、女衞にかどわかされシアトルの娼館に売られる。当時「からゆきさん」として東南アジア等の外国に渡って娼婦として働いた女性は多く、わかにはアメリカのシアトルで「アラビヤお八重」として男たちに身を委ねる暮らしをした。26歳の時、新世界新聞記者によって救い出され、サンフランシスコのキリスト教娼婦救済施設に保護され、洗礼を受ける。同地で山田嘉吉の開いていた英語塾に入る。嘉吉は20歳で渡米し、苦学で語学を学び、哲学、医学、社会事業にも造詣が深かった。嘉吉はわか天性の純真素朴で善良な資質を見抜き、彼の学識の一切を伝える伴侶として、わかには嘉吉の人間の情愛を欠いた部分を補うことに自分の使命を見出し、二人は結婚。明治38年帰国。嘉吉の教導の下でスウェーデンの社会思想家エレン・ケイの母性主義にふれ、以後母性保護を思想信条とした。大正2年「青鞥」に翻訳を発表し文壇に登場。与謝野晶子、平塚らいてうらの母性保護論争にも加わり、「母となるのは婦人の天職」と主唱した。以後「女・人・母」などの評論集や翻訳など出版し、昭和6年から6年間「東京朝日新聞」の女性相談担当者として活躍。女性としての苦しみの限りを尽くしたわか心の温かい回答は、多くの女性読者層の支持を得た。昭和9年5月、母性保護法制定促進婦人連盟が結成され初代委員長に就任。同年、夫嘉吉没。昭和12年57歳となったわかには、婦人親善使節としてシアトルなどアメリカ各地で講演をした。その後渋谷区幡ヶ谷に母子寮と保育園を建設し、昭和22年同地に売春婦更生施設「幡ヶ谷女子学園」を開園した。売春婦という数奇な運命をたどりながらも、強い意思と努力の末に評論家となり、母性保護運動に加わったのみならず、売春婦の自立の場を作り78歳で没するまで福祉事業に身を挺した足跡は大きい。

参考図書：「先駆者たちの肖像」、「あめゆきさんの歌」、「社会事業に生きた女性たち」

にゅーすBOX

* 10月は乳がん月間です

児童虐待事件 62%増

警察庁の発表によると、今年上半期(1~6月)の児童虐待事件は昨年より62%増の248件で、統計がある平成12年以降最多。248件のうち身体的虐待は175件、性的虐待は68件、育児放棄(ネグレクト)は5件だった。身体的虐待では、加害者の6割強が実の両親。実母によるものでは3歳以下が4割を占め、最多は0歳児の10人(死者3人)だった。

また、警察が児童相談所へ通告した被害児童の数は、7271人に上り(昨年比38%増)、このうち子どもの目の前で配偶者に暴力を加えるなどする「心理的虐待」の通告は3634人で半数を占めた。

ダウン症 妊婦の血液で検査

11月中旬以降、共同臨床研究として国立成育医療研究センターなど国内約10施設で、新型の出生前診断を始める予定。この検査では、妊婦から少量の血液を採り、胎児のDNAを調べればダウン症が99%の精度でわかるという。安易に検査を受け、予想外の結果に悩んだり、不正確な情報で中絶を選ばないように相談態勢も充実させる。35歳以上が対象で、費用は21万円。

女子の性交経験率下落

日本性教育協会は、若い世代の性に対する意識などを探るために、ほぼ6年に1度実施している調査の結果を公表した。それによると、昭和49年以来一貫して上昇傾向にあった女子大学生・女子高校生の性交渉の経験率が下落に転じたという。性交の経験率は男子大学生が54%、女子が47%で、前回に比べると男子は7ポイント、女子は14ポイント減り、女子の減り幅が大きかった。調査委員会では「『草食化』の傾向が、若い男性だけでなく、女性でも進んでいる」としている。

母子家庭生活保護 14%

厚生労働省が公表した「全国母子世帯等調査」によると、母子家庭の14%、父子家庭の8%が生活保護という厳しい暮らしが浮き彫りとなった。母子家庭の生活保護の受給率は、前回調査(平成18年)と比べて1.5倍。平成22年の平均年収は、母子家庭は291万円が全家庭の平均年収の44%、父子家庭は455万円が69%にとどまる。

練馬区 買い物支援サービス始まる

商店街まで遠い、重いものを持つことが大変など、日常の買い物に不便を感じている「買い物弱者」への新たなサービスとして、石神井地域と北町地域で買い物支援サービスのモデル事業を開始した。石神井地域では、食品の販売や日常生活の支援をするコミュニティショップ「ウェルカム」がオープン。北町地域は「手ぶらで帰宅サービス」「移動販売サービス」「送迎サービス」を行う。問い合わせは商工係 ☎5984 - 2675

性的虐待 転居先閲覧拒否

総務省は10月より、家庭内で性的虐待を受けた被害者が、加害者に転居先を知られるのを防ぐため、市町村が住民基本台帳の閲覧を拒否できるように制度を改めた。平成16年の省令改正により、住民基本台帳の閲覧拒否や住民票の写し交付制限は、配偶者や恋人からの暴力(DV)やストーカーの被害者が、公的な被害証明書を添え申請した場合に認められていた。しかし、家庭内の性的虐待は明確な規定がなく、各自治体の判断に委ねられていたため、被害者支援団体「VSCO」が国に要望していた。

また警察庁は、昨年12月女性2人が殺害されたストーカー事件の対応批判を受け、被害届を原則として「即時受理する」よう通達した。

65歳以上 総人口の24%

総務省の国勢調査を基にした推計によると、65歳以上の人口が3074万人となり、総人口に占める割合は24.1%と過去最高を更新した。男性は男性人口の21.2%、女性は女性人口の26.9%を占めた。

また厚生労働省は、認知症の高齢者が今年時点で約305万人おり、65歳以上の1割にのぼるとの推計結果を公表。高齢化の進行に加え、介護保険制度が定着して要介護認定を受ける人が増えたためという。

老齢年金100万円以下 女性65%

厚生労働省の公的年金加入者等の所得に関する実態調査で、老齢年金を受給する男性の場合、「250万円超300万円以下」が14.9%で最も多く、次いで「200万円超250万円以下」が13.8%となった。一方女性の場合、「50万円超100万円以下」が38.3%と最も多く、次いで「50万円以下」が26.7%と、女性の低年金が浮き彫りになった。全体では、年収150万円以下が55.8%を占めた。

大学 女性教員増加

文部科学省の学校基本調査によると、大学教員のうち女性は21.2%(昨年度比0.6ポイント増)と過去最高を更新。女性の視点を研究に生かして生き残りを図ろうとする大学は、学内保育所や相談窓口を設置するなど積極的に女性を支援し、女性教員の確保を目指している。

エジプト 「ニカブ」着用テレビ局

エジプトで、目の部分以外の全身を覆い隠す保守的なイスラム教徒の衣装「ニカブ」を着た女性約40人で運営する衛星テレビが開局した。「アラブの春」以降、抑圧されてきた女性たちのイスラム意識が「解放」されつつある。

